

8-4-18 海岸・海洋専門委員会

1. 主な活動の記録

(1) 委員会の開催

海洋分野の新たな市場開拓を主な目的として沿岸域の総合的な管理等に関わる情報収集、情報交換等の委員会を7回(4月、6月、7月、8月、10月、11月、1月)開催した。なお、6月の委員会では、東京大学大学院工学系研究科社会基盤学専攻の佐藤慎司教授を訪問し、「東日本大震災から地域がどのように復興してきたか」という視点など、10周年記念としてのセミナーテーマについて意見交換を行った。

(2) 宮城県沿岸の現地視察の実施

東日本大震災後の仙台湾沿岸(閑上漁港～蒲生～石巻)に対し、震災以降の復旧状況を視察することを目的に、現地視察と意見交換会を平成30年9月29日(土)に実施した。意見交換会では、東北大学大学院工学研究科の田中仁教授及び東京大学佐藤慎司教授と地元の建設コンサルタント3社、委員会委員が参加し、今回の現地視察の結果を踏まえ、東日本大震災から7年を経過した現在における復興の取り組みと大学、建設コンサルタントの対応の考え方や対策(ハード・ソフト)の全体の考え方などの様々な視点からの有意義かつ活発な意見交換が行われた。

(3) 海岸・海洋セミナー(第10回)の開催

「東日本大震災による被災から地域がどのように復興してきたか」という視点をもって、「地域防災を踏まえた、地域の持続可能な発展を目指した沿岸域管理のあり方」と建設コンサルタントが実施すべき役割について考えることを目的として開催した。

- a) テーマ:「地域の震災復興と持続可能な発展を目指した沿岸域管理」～沿岸域管理において建設コンサルタントが果たすべき役割～
- b) 日時:平成30年11月30日(金)13:30～17:00
- c) 場所:シェーンバッハ・サポー 3F 六甲
- d) 参加者数:58名

e) 講演概要

- ・【講演1】「震災後の閑上・石巻のかわまちづくりと沿岸域管理」東北大学大学院工学研究科土木工学専攻 教授 田中 仁氏

震災後の宮城県の復興状況とかわまちづくり委員会等で関わられた閑上及び石巻の復旧、復興の取り組みを紹介いただくとともに、震災後の閑上・石巻周辺の海浜・河口地形回復と課題、さらに地形変化に影響を受ける沿岸水産資源と感潮域との関係についてご講演いただいた。

- ・【講演2】「東日本大震災から7年 被災地の復旧・復興と津波対策」東京大学大学院工学系研究科社会基盤学専攻 教授 佐藤 慎司氏

東日本大震災時の被災状況とその後の復旧、復興の取り組み、さらに今後の総合的な津波対策としての防災・減災のあり方とともに、参与会議メンバーとして取り組まれた第3次海洋基本計画の本来のメッセージを紹介いただいた。さらに総合的な沿岸域管理に向けた取り組み姿勢についてご講演いただいた。

・【総合討議】

東日本大震災の被災、復興に関する2つの講演とこれまでの海岸・海洋セミナーの講演および海岸・海洋専門委員会の活動を振り返り、委員会メンバー、佐藤教授及び田中教授をパネリストとして総合討議を行った。特に、コンサルタントは地域の合意形成において技術のバックグラウンドをもって合意に繋げていくファシリテーターであり、技術とコミュニケーションが重要であるなどの意見が出され、活発な討議が行われた。

2. 次年度の活動について

これまでの活動を継続し、以下の活動を行う予定である。

- ・ 沿岸域の総合的な管理に関わる情報収集と検討課題の把握
- ・ 海岸の現地視察と意見交換会
- ・ 令和元年度海岸・海洋セミナーの開催による技術情報の発信
(海岸・海洋専門委員会委員長 加藤 憲一)